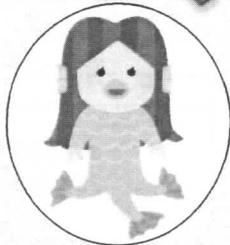


“わくわくサポート”たより



(福岡市認証 区市1-16号) NPO法人地域生活・死後事務 安心サポートネット
〒810-0074 福岡市中央区大手門3丁目5番10号 第二井原ビル302号室
Tel:092-791-3251 Fax:092-791-3252
(Eメール) chiikiseikatsu_0227@yahoo.co.jp
(ホームページ) <https://chiikiseikatsu-saporto.jimdo.com>

新型コロナ禍の第5回通常総会

NPO法人

地域生活・死後事務安心サポートネット

理事長 中山 千住

今年の第5回通常総会は、総会員の書面による合意を受けて総会の決議に変えるという、例年とは異色の総会形式を取らざるを得ない事態となりました。会員の皆様がたのご理解とご協力に感謝いたします。今年に入り、新型コロナウイルスが急激に世界的に蔓延する中、福岡県も緊急事態措置を実施すべき区域とする緊急事態宣言が4月7日に発出されましたので、より一層、密接・密集・密閉の三密を回避することで、総会参加者への感染拡大防止や不安を解消するには必要な対応でした。しかしながら、会員の皆様方の生の声を聴かれないことが何より心残りです。



新型コロナウイルスに苦しんでいる方々にお見舞いを申し上げるとともに、不幸にしてお亡くなりになられた方々の哀悼の意を捧げます。また、命を賭して治療に注力されている医療関係者には、感謝と尊敬の意を表します。ところで、昨年8月に、事務所地を福岡市赤坂から同市大濠公園に位置する大手門へと移動しました。経費を削減するとともに事務所での生活相談や打合せにも対応できるスペースを確保することができました。

しかしながら、昨年度の業務実績は、当期正味財産は約21万円(計画値50万円)と大幅に減少しました。葬儀や遺品整理業務の受託が計画を大幅に未達したのと、新型コロナウイルスの伝播の影響をうけて見守り等の支援ができなかったことが主な要因です。今年度は、新型コロナウイルスの影響が長丁場に及ぶとされている中において、国民的に「新しい生活様式」を日常に取り入れることとなりますが、当法人の活動も柔軟な対応が求められます。孤立しがちな高齢者等との繋がり大切にす支援の在り方を新型コロナウイルス対策の面から新たに見直して、高齢者等の不安を軽減し安全に生活ができるように配慮する必要があります。

新たに直面した課題解決に取り組むことは、当法人に活力を与えてくれるものと思います。明るい話として、高齢者・障害者安心サポートネット森山理事長のご配慮により、同法人が行っている相談会に当法人から、相談会運営の助勢員として、また生活支援面での相談員として参加させて頂くこととなりました。一昨年、当法人が独自に開催していた無料相談会の経験を踏まえて、再度、取り組んで行きたいと思います。

新型コロナウイルスの終息が見えない中、当法人の事業活動も行路難、岐路多しというところでしょうか。今年度は、特に会員の皆様方のさらなる緊密な連携が求められています。あらゆる情報の収集と共有化に努め、難局だからこそ、支援を必要としている方々ファーストの視点を深めて事業活動に取り組み、支援体制の確保に万全を期すこととしたいと思います。

第 5 回 通 常 総 会 開 催 報 告

平成31年度 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

単位:円

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
(現金・預金)	(3,273,771)
現 金	172,408
普通預金	1,330,837
定期預金	1,770,526
(売上債権)	(29,600)
未 収 金	29,600
流動資産合計	3,303,371
2 固定資産	
無形固定資産	
敷 金	129,000
固定資産合計	129,000
資 産 合 計	3,432,371
II 負債の部	
1 流動負債	
未 払 金	48,000
前 受 金	271,200
流動負債計	319,200
負 債 合 計	319,200
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	2,906,072
当期正味財産増減額	207,099
正味財産合計	3,113,171
負債及び正味財産合計	3,432,371

平成31年度 活動計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

科 目	金 額
経常収益	
【受取会費】	325,000
【受取寄付金】	222,950
【事業収益】	
生活支援事業	993,320
死後事務関係事業	276,800
講演会等講師派遣	10,979
物品販売事業	110,155
(事業収益計)	(1,391,254)
【その他収益】	81,163
(経常収益計)	(2,020,367)
経常費用	
【事業費】	
人件費	0
旅費交通費	409,630
通信運搬費	145,362
地代家賃	380,000
支払手数料	106,800
その他	47,883
(事業費計)	(1,089,675)
【管理費】	
人件費計	0
旅費交通費	165,000
通信運搬費	112,333
地代家賃	163,199
租税公課	71,000
その他	212,061
(管理費計)	(723,593)
(経常費用計)	(1,813,268)
当期経常増減益	207,099
当期正味財産増減額	207,099
前期繰越正味財産額	2,906,072
次期繰越正味財産額	3,113,171

令和2年度 活動予算書

単位:円

金 額
354,000
200,000
1,086,000
420,000
80,000
(1,586,000)
(2,140,000)
0
500,000
19,000
361,200
157,750
113,250
(1,151,200)
0
192,000
96,000
154,800
71,000
175,000
(688,800)
(1,840,000)
300,000
300,000
3,113,171
3,413,171

【概要】

理事長の挨拶にありますように、平成31年度は減収減益に終わりましたが、令和2年度事業計画は以下の5つの提案をさせていただきました。

- ① 死後事務委任契約受託に向けた広範囲な提案活
- ② 「わくわくサポート」会員数の増強
- ③ 高齢者・障害者安心サポートネットとの事業連携
- ④ 地域組織との連携強化
- ⑤ 組織体制の強化

に重点的に取り組みにより計画値の達成を目指します。皆様のご協力、宜しくお願い致します。

定例会では更に詳しく直接説明することもできます。会員の皆さん、是非、ご参加ください。

任期満了による理事・監事の選任が提案され承認可決されました。

理事	中山 千住
理事	安田 豊
理事	川尻 征人
理事	大里 通代
理事	南 武文
理事	進藤 ひとみ
理事	柳迫 義和 (新任)
理事	齋藤 睦夫 (新任)
監事	小城 恵美子 (新任)
監事	山下 則子 (新任)

生活支援事業活動のご紹介（同行支援）

買物同行支援

昨年9月からおおよそ週1回、買物の同行支援を担当しています。

身体に障害があり、一人では外出が困難な方です。当日は、自室へ訪問してヘルパーさんからの購入物品依頼の確認した後、本人の冷蔵庫内やおやつストックを確認させていただき、タクシーを利用して近所のスーパーマーケットへ出かけています。主に車の乗降の介助、食品の選択、購入品のパッキング、そして帰宅後の片付けなどのお手伝いをしています。

購入するのはおやつなどの嗜好品が中心で、購入することが気晴らしになっているよう



です。果物コーナーから始まりスナック菓子、パン、ケーキ、アイスクリームと、目につく物をついつい買い過ぎることが多いので、「一週間分」を合言葉に買い過ぎに注意しながら、満足感を損なわないように心がけています。また時間がかかっても、できることはご自分でやっていただきながら、「自律」を損なわない事も大切だと考えています。

その楽しみを奪うかのような今回の感染症の流行が早く収束し、再びゆっくりと買い物ができる日を望んでいます。

(山下則子)

通院同行支援

ある日某機関から病院同行支援の可能性について問い合わせがありました。

支援希望の方は建物の3階にお住まいの高齢者の方で、病院に月1回の定期受診だが、家族は仕事の都合で同行することが出来ず、某機関に相談されたものです。機関から依頼を受け、当法人が通院同行支援を行うことになりました。

病院までの往復は、タクシー利用ですが、3階の自宅玄関まで階段の為、階段での足の踏み外し、転倒に注意しての声掛け介助です。

院内では、車椅子介助、受付、診療費支払い、薬局での薬の受取と支払いをお手伝いしています。

現在、新型コロナウイルス予防で、通院同行支援が中止になっていますが、お変わりなく過ごされていることを願っています。



(進藤ひとみ)

正会員・賛助会員大募集！

高齢者や障がい者のサポートに意欲ある人を募集しています

◆正会員 年会費:1万円

◆◆賛助会員 1口: 3千円

Tel:092-791-3251 Fax:092-791-3252

Eメール:chiikiseikatsu_0227@yahoo.co.jp

元気でいたい！！

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の持ち方を言うのだ。

年を重ねるだけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いる。

希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。



皆さんご存知のサムエル・ウルマンの詩です。私は、この言葉を常に自分自身に言い聞かせています。

確かに、20歳・30歳代でもネガティブな人、80才・90才でもポジティブな方は多く見受けられる中で、私は、2年～3年先の小さな目標を立てて、その目的を達成することを楽しみに生活しています。例えば、個人的には喜寿の同窓会やオリンピック開催、家族的には孫の小学校入学等です。この身近なことを達成する為に長生きの秘訣を探っています。

それは、①体を動かす、②声を出す、③食事・睡眠を十分に取ることです。

①体を動かすことは、数年前までは、一日10キロ、1万歩～2万5千歩のウォーキングをしていました。しかし、腰痛で手術をし、今では5千歩以上を毎日実行しています。また、スポーツジムで週2～3回卓球などの運動を楽しんでいます。

②大きな声で「ソ」の音で声を出すこと。私は若い頃からお謡いを30年以上行っており、1年に1回は大濠能楽堂で謡っています。近年は老人センター舞鶴園で詩吟を5年、相撲甚句を2年、昨年は博多どんたくにも出演しました。しかし、今年は残念ながら新型コロナの影響で、全て中止となりました。腹式呼吸は内臓を活性化させ腸内環境を良くし、ストレス解消にも効果があります。大きく声出すことは、あごや頬の筋肉を使うので嚙下運動にもなります。「身体・脳・心」の3つが上手くバランス良く働くことが健康であり続ける為の秘訣であり、歌うことにはその3つ全てを元気にする力があると私は思います。

③食事と睡眠は十分に取っていますが、腹回りがメタボリックの条件を外すまでには至っていないのが今の最大の悩みです。

このように私は、この三つを実践し、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



(川尻征人)

寄付金ありがとうございます

- 提口恵子様 1万円
- 南 武文様 2万円
- 安田 豊様 2万円
- 中山千住様 4万円
- 川尻征人様 1万円
- 匿名希望様 1万円



(令和2年1月から令和2年6月末まで)

【編集後記】

「良いお年を！」と新春を迎えたのも束の間、大変な年になっています。2008年リーマンショックとは、根本的に性格が全く異なる危機です。これまでの日常が無くなってしまいました。自由に動くことができません。

「新しい日常を築かなくてはならない」と言われるのですが、そう簡単にできるのだろうか心配です。「新しく、事を創る」ことの難しさを経験的に知っています。

当法人も新年度を迎え新たにスタートしました。微力ながら、お役にたてるよう頑張ります。広報紙も新しいものが必要かと感じながら。

(Y)